

成長・貢献・感謝



羽地中学校
学校だより101号
R1. 9. 27

7月12日(金)第39回 名護市少年の主張大会に参加し、優秀賞をいただいたK・Uさんの原稿を紹介します。Kさんは、9月14日(土)の国頭地区英語弁論大会にも出場し、優良賞をいただきました。

直接あつて会話したい理由

私には悩みがありました。それはプライベートの時間に友達と会うのが苦手なことです。普通なら、休みの日も、仲のいい友達と遊ぶことが楽しいと感じるはずですが、しかし、私は自分の時間まで人に合わせることを苦痛に思っていました。ある時、仲の良い友達が遠くの学校に進学し、離ればなれになりました。会えない時間を「LINE」などで補っていました。会いたいのと感じるようになり、去年の夏休みに初めてその友達と遊びに行きました。

一緒にいるだけで笑顔になり、今まで苦痛だと思っていたイメージが無くなりました。直接会って話をすると、一緒にいるだけでこの時間が一瞬たりとも逃したくない大切なものになりました。また、お互いのプライベートな一面を知ることによって前よりも強い友情に変わりました。それからは、学校の外でもみんなで遊ぶようになりました。小さな変化に見えますが、人見知りな私にとっては、とても大きな成長になりました。

現代社会では、直接会わず、SNS等を使ってコミュニケーションをとる機会が増えていきます。SNSのメリットはいつでもどこにいても、すぐに気持ちを伝えることができる点です。しかし、私はSNSを使うより、直接会って会話をするのが大事だと考えます。なぜなら、SNSの文字だけでは相手の表情がわからず、誤解が生じやすいからです。実際、二〇一六年度版「国語に関する世論調査」では、コミュニケーション手段について、最も本音を伝えやすい手段・方法として、「直接会っての会話」が90%と「携帯電話等での通話」30%を大きく上回った結果が出ています。逆に誤解を招きやすい手段・方法として「SNSでのメッセージ」、「携帯電話等でのメール」が約45%でした。確かに、直接会って会話すると、言い争いになったり、思いがけず相手を傷つける言葉を発したりというデメリットがあります。それでも私は直接会って会話することが大事だと考えます。



噂話等では、本当はどんな人がわかりません。会って会話することで初めて知ることができるとです。



普段、テレビで目にしてる芸能人のイメージもメディアが作り上げたイメージなのかもしれません。画面に映っている姿が本当の姿なのかは、会ってみないとわからないのです。

悲しい時は、言葉よりも友達がただ側にいてくれるだけでホッとする時があります。同じ時間を過ごすことで相手を知り、相手もまた自分を知ってくれます。そうすると、前よりも深くお互いの新しい面を知りたくなります。その繰り返しがいっしょに大切な存在になっていくのではないのでしょうか。

ケンカでも言葉だけでは、仲直りはできません。相手の目を見ることで気持ちを受け取ることが出来ます。そうすることでまた一つお互いを理解し、より深い関係になっていくと思えます。

私は今でもコミュニケーションをとることが上手ではありません。しかし、直接会って会話することで変わることができました。これから先、もっと便利な世の中になり、人と人との関わりが薄れてしまいかもしれません。それでも、私は直接会って会話することを大切にしていきたいです。相手の側にいて、相手の表情を見て、相手の言葉に耳を傾ける、自分の思いを伝える。私達は、そのようなあたり前のコミュニケーションを見直す必要があるのではないのでしょうか。